

## 「ちよだりテラシー教育」の取組状況について

### 1 背景

SNS などの普及により情報発信・取得が容易になった現代では、自分の考えをもち、情報を正しく判断する力が重要である。こうした力を育むために「ちよだりテラシー教育」を推進し、特にメディアリテラシーの育成に力を入れていく。

### 2 目指すべき子どもたちの姿

「情報を読み解き自己の信念に従って行動ができる人」(千代田区子育て・教育ビジョンより)

### 3 育成する力

- (1) 善悪を判断して行動する力
- (2) 類似情報を比較する力
- (3) 事実と意見を区別する力
- (4) 批判的に読み解く力
- (5) 発信者の意図を考える力
- (6) 確かな情報を見極める力
- (7) 自分の考えを形成する力

### 4 学校での取組

- (1) 国語科を中心とした言語能力を育む指導の充実
- (2) 読書活動の充実
- (3) 資料やデータの見方・活用における指導の充実
- (4) 情報モラル教育の充実
- (5) AI など新たな技術の体験・活用

### 5 教育委員会及び学校のこれまでの取組

- (1) 目指す姿、育成する力、学校での取組を可視化(各学校は教育課程に記載)
- (2) メディアリテラシーに関する資料を整理・作成
- (3) 管理職向け研修
- (4) 児童・生徒向け実態調査
- (5) 各学校の「ちよだスマートスクールの」での授業公開、講演会等
- (6) 各学校独自の取組(外部団体を活用したセーフティ教室、ビブリオバトル等)

### 6 児童・生徒向け実態調査について(質問項目は裏面参照)

実施時期：令和7年5月8日(木)から令和7年5月30日(金)まで

対 象：小学校5～6年生及び中学校・中等教育学校前期課程の児童・生徒

結 果：○高い達成度が示された内容

インターネット上での配慮や自分の行動の影響

●今後重点的に育成が必要な内容

信頼性の高い情報の見極め、事実と意見の区別、情報を批判的に読み解く力

【質問項目】

小学校5～6年生	中学校/中等教育学校（前期課程）
善悪を判断して行動する力	
1. ネット上で発信するときに、相手を傷つけないための注意点を考えることができる。	1. オンラインでのコミュニケーションを図る際、適切な発信を心がけることができる。
2. 自分の行動が周囲にどのような影響を与えるか考え、迷惑をかけないように判断することができる。	2. 自分の行動が社会にどのような影響を与えるかを深く考え、責任ある判断をすることができる。
類似情報を比較する力	
3. 複数の方法を組み合わせて、どちらがより信頼できる情報かを考えることができる。	3. 複数の情報源を比較し、それぞれの特徴や信頼性を分析することができる。
4. いくつかの意見を比べて、自分が賛成できるものを選ぶことができる。	4. 異なる視点の意見を比較し、それらの背景や論拠を分析しながら、自分の立場を整理できる。
事実と意見を区別する力	
5. 「事実」と「自分の考え」に分けて文章を書くことができる。	5. ニュースや記事を読んだとき、事実と意見を正しく分けながら、自分の考えを書くことができる。
6. ニュースや記事を読んで、どこまでが事実でどれが意見かを見つけることができる。	6. ニュースや記事の中で、客観的事実と解説・意見を区別することができる。
批判的に読み解く力	
7. ニュースや記事などの情報を簡単に信じず、疑いながら読むことができる。	7. 映像作品や報道がどのようなメッセージを伝えているかを批判的に考察することができる。
8. 他者の主張や考えなどに触れたときに、矛盾点があれば指摘することができる。	8. 本や記事の論点を整理し、問題点や矛盾点を指摘することができる。
発信者の意図を考える力	
9. 作者や筆者、発表者の考えや意図を考えながら読んだり聞いたりすることができる。	9. 本や映像作品など、作者の意図やねらいを考えながら読んだり視聴したりすることができる。
10. 同じ出来事でも発信者の立場によって伝え方が違うことを考えることができる。	10. ニュースや記事、人の話は、発信者の立場によって伝え方が違うことを考えることができる。
確かな情報を見極める力	
11. インターネットの情報を正しいかどうか確認することができる。	11. インターネットから信頼できる情報を選ぶことができる。
12. 調べた情報の出典を確認し、信頼性を考えることができる。	12. 情報の発信元の違いを分析し、それぞれの信頼性について考えることができる。
自分の考えを形成する力	
13. 自分の意見を他の人に説明するときに、そう考えた理由もしっかり伝えることができる。	13. 自分の意見を論理的に整理し、他者に根拠を示しながら伝えることができる。
14. 他の人の意見を聞いて、自分の考えに付け加えたり新しい考えをもったりすることができる。	14. 意見をもった後も、新たな情報を踏まえて柔軟に考えを見直すことができる。